

と も え

2009

1

No.313



CONTENTS

巻頭特集 北海道新幹線開業

はこだて活性化アクションプラン

- ◆健康情報..... P19
- ◆街の元気・情報交差点..... P20
- ◆新春紙上名刺交換..... P22

Consulate Bridal

宗教によらない自由な形の結婚式です。
函館市旧イギリス領事館で交わす
調印式をイメージするお二人の将来を約束する誓いは、
きっとドラマチックな思い出となることでしょう。



おふたりにいちばん近い方々に囲まれながら、領事館を訪れる方々の賑わいのなかで、出発を祝うコンサレートウェディング。

外国旅行での経験や映画のシーンを想い出すチョットおしゃれなウェディングセレモニーです。



挙式の後のご会食は館内レストランで…。



ガーデンでの挙式 (5月~10月上旬)

館内での挙式 (10月~12月、1月~4月)

コンサレートウェディングプラン

¥150,000(税別)

(挙式料・衣裳・美容・着付・写真)

領事館結婚式

函館市旧イギリス領事館

Old British Consulate of Hakodate

函館市元町33番14号

TEL.0138 (27) 8169 (ブライダル直通)

ともえ

1月号

(通巻313号)

2 年頭所感

4 新春特集

8 会議所のうごき

13 会員企業ご紹介

14 優良商工従業員表彰式

16 中小企業相談所だより

18 新幹線情報

19 健康情報

20 街の元気・情報交差点

21 ご案内

22 新春紙上名刺交換

28 観光コンベンション情報

29 全面広告

◆今月の表紙

うっすらと雪化粧したトラピスチヌ修道院。

静寂のなか夜が明け、2009年を迎えた。

(写真提供：小松 英海 氏)



謹賀新年

旧年中は格別のお引立てを賜り
心から御礼申し上げます。
本年も会員皆様にとって、良い年で
ありますよう心からお祈り申し上げます。



広告掲載企業

北海道旅客鉄道(株)函館支社

(社)函館国際観光コンベンション協会

富国生命保険(相)函館支社

(社)函館地方法人会

函館青色申告会

(業)英知国際特許事務所

中小企業基盤整備機構

五稜郭タワー(株)

函館山ロープウェイ(株)

(株)日本マネージメント・リサーチ

龍文堂印刷(株)

裏表紙

表紙裏

裏表紙裏

P29

P30

段下

段下

段下

段下

段下

段下

年頭所感



函館商工会議所 会頭

高野 洋 藏

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、つつがなく輝かしい新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

今年は、函館市が安政6年（1859年）に、横浜、長崎と共に海外に門戸を開いて150周年という記念すべき年でもあり、函館市にとりましては二重の慶賀であります。

わが国経済は、昨年、原油価格が異常なまでの高騰を続け、年の後半にようやく鎮静化し、冬場を迎える私共にささやかな安堵感を与えてくれたのも束の間、サブプライム問題に端を発した世界的な金融危機は、わが国経済界全体に極めて大きな陰を落とし、一段と緊迫感を増してきております。

さらに、中国からの輸入食品問題や多発する食品偽装問題をはじめ、日常生活を直接脅かすような事件が相次ぎ、景気動向は回復の兆しすら見えず、政局が混迷する中で、明るい材料もないまま新年を迎えましたことは、残念でなりません。

国は、現下の厳しい経済状況に対応するため、緊急総合対策に続いて総合経済対策を打ち出し、全国の中小企業260万企業が対象となる信用保証協会100%保証の緊急保証制度の実施や、業種を問わず利用出来るセーフティネット貸付枠の大幅な拡大など、中小・小規模企業に対する強力な資金繰り対策を講じたところであります。

商工会議所といたしましても、国で進める経済対策がより効果を上げていくため、諸施策の推進に全力で取り組むほか、特に資金面で脆弱な体質にあります小規模企業の経営向上のための支援を強力に進めることが必要でありますので、マル経資金のさらなる活用を図ってまいりたいと考えております。

観光は、函館市にとっての基幹産業として重要な役割を担っておりますが、ここ数年、入込み客数が500万人を割り、右肩下がりの状況から脱せずしておりますが、こうした状況に、さらに拍車をかけるかの様に、航空路線の一部休止や減便、さらには津軽海峡の花形として一昨年9月に華々しく就航し、脚光を浴びた青函間高速フェリーも、昨年10月で運航を中止するなど、今後の観光振興にとって大きなマイナス要因になる出来事が相次ぎ、先行きが懸念されるところであります。

一方、新幹線関係では、いよいよ東北新幹線新青森開業が明年12月になることが発表され、また北海道新幹線についても着工5年目を迎え、平成21年度予算も対前年比89%増の337億円が決定し、トンネル掘削工事に続き、函館総合車両基地の建設も順調に進むなど、陸上部での工事を目のあたりにすることが出来る様になり、新幹線への期待が一段と高まってくるものと思っております。

このようなことから商工会議所と市、関係団体などで組織する北海道新幹線はこだて活性化協議会では、新幹線の新青森、新函館開業を見据えた交通網整備や観光・産業振興など3分野26施策58項目にわたる活性化のためのアクションプランを策定し、これを着実に実現していくこととしております。

また、当地域は三方を海に囲まれ、海洋資源が豊富で天然の良港に恵まれるなど、地理的・自然的な条件が優れ、“海”が日々の暮らしの中で大きな役割を果たしてきたことから「函館国際水産・海洋都市構想」を策定し、産学官が一丸となって構想実現に向けての各種事業に取り組んできたところであります。

この構想を一層進展させるため、本年4月には「一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構」を設立し、当地域を世界中から研究者が集う学術研究・技術・産業の拠点地域とし、地球規模の諸問題に対応する学術研究機能の構築を図っていくこととしております。

地域経済の後退感が一段と強まり、極めて厳しい環境下の中での平成21年の船出は、決して予断を許さない状況にありますが、商工会議所は、正副会頭と議員、役職員が心をひとつにし、地域経済の活性化と会員企業の経営安定のため、さらなる努力を惜しまぬ所存でございます。

皆様方のご健勝とご活躍をお祈りするとともに、ますますのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新春特集

北海道新幹線開業はこだて 活性化アクションプラン

～このまちに暮らすすべての人と
未来をひらくまちづくり～

北海道新幹線開業はこだて活性化協議会（事務局：函館商工会議所、以下「新幹線活性協」）では、構成団体の函館市、(社)函館国際観光コンベンション協会ならびに函館地域の各種業界団体とともに、北海道新幹線新函館（仮称）駅開業時の経済効果を最大限に生かすため、平成19年6月よりテーマ別の専門部会を設け、アクションプラン（行動計画）の策定協議を進めてきました。このたび開業に向けて取り組むべき3分野26施策58項目がまとまり、平成20年11月開催の同協議会臨時総会で承認されましたので、その概要をお知らせします。アクションプランの推進にあたり皆様のご協力をお願い申し上げます。



■アクションプラン策定の経緯

平成17年5月
北海道新幹線着工

- 平成27年度新函館開業に向けた地域振興策の必要性
- 官民協働による推進体制の必要性

平成18年9月
新幹線活性協設立

- 新幹線開業効果を最大限に生かした産業等の振興や地域発展のため必要な事項の検討・協議を目的に官民協働で設立

平成19年6月
同 専門部会設置

- 専門的事項について調査検討を行うため、テーマ毎に「観光振興」「産業振興」「交通アクセス」の専門部会を設置
- 計6回の協議および先進事例視察調査を実施
 - 観光振興…観光資源の充実、広域連携・受入体制・誘致宣伝活動強化など
 - 産業振興…各種産業振興策、地域ブランド確立、中心市街地活性化など
 - 交通アクセス…鉄道アクセス・道路ネットワーク・公共交通機関の整備充実など

部会協議経過、
アンケート調査
(市民・観光客対象)

■部会協議やアンケート結果における委員、市民の主な問題提起

①人口や経済規模が縮小するなかでの活性化策のあり方

○昭和50年代以降の産業構造の変化や急速な高齢化・少子化による人口減少が進むなか、何をもって活性化とするのか。

②新幹線開業頼みにしない着実な産業振興策の必要性

○これまで、景況感など「雰囲気」でしか語られなかった函館経済の弱さを国勢調査などから客観的に分析したところ、サービス業主体の産業構造（男性が定着できない）、離別（離婚）率の高さ、子どもの少なさ、世帯当たり人員の少なさ（可処分所得が低い）など、地域構造に顕著な現象が見られ、検証により各指標の相関も判明（完全失業率と離別率と一人当たり所得など）。

○長期目標（上記の地域構造対策）と中期目標（新幹線アクションプラン）の役割整理。

③北斗市に設置される新函館駅との円滑な交通アクセスの確立

○現函館駅から約18km離れた新函館駅の距離感を克服するため、在来線を活用した現函館駅までの鉄道アクセスの充実化やバス・タクシー・レンタカーサービスの向上充実化を求める声。

④函館圏域・道南地域の連携のあり方

○住民本位の視点に立ち、企業活動や住民生活にとって不便不利益が生じないよう圏域自治体連携による基盤整備を求める声。

平成20年11月
アクションプラン
策定

■【考え方】人口減少・構造問題など、長期的な地域課題の解決に貢献できる活性化策として、域外から所得を得るための「移出化」と「域内需要創出」、域外に所得を逃がさない「域内所得循環化」、それらを実行できる「人的資本強化」の各取り組みが必要

■【展開】付加価値や満足度の高い「財・サービス」を供給し、「ヒト・モノ・カネ」の流れを取り込む

○「楽しめる」「行きたくなる」まちの演出（観光振興分野）

○「楽しみやすい」「行きやすい」環境整備（交通アクセス分野）

○「楽しそうな」「健康な」企業と市民の育成（産業振興分野）

平成22年12月新青森開業
平成27年度新函館開業

■アクションプランの実現による経済活動の活性化



将来の地域の姿(長期目標)

■市民が暮らし続けられる地域社会・経済基盤の構築

○地域課題の解決、悪循環の克服、衰退の抑止

■アクションプラン分野別の展開

北海道新幹線の開業効果を地域に最大限結びつけていくためには、時間短縮や輸送力の増強による交流人口の増加といったプラス要素はもとより、企業の出先機関の集約や地元消費が大都市圏に流出するストロー現象といったマイナス要素など、開業による環境変化を十分に想定するとともに、高付加価値型への産業構造転換や人口減少時代の到来、ライフスタイルの多様化など、時代の潮流を的確にとらえながら、地域の特性や資源を有効に活用した個性的で魅力あふれる地域づくりを、官民一体となって着実に進める必要があります。



◆【観光振興分野】

新幹線開業によって、特に北関東や東北地域からの観光入込客数増加が期待されることから、観光客のニーズ把握に努めるとともに、観光都市として函館が有する高い知名度を十分に生かし、豊富な地域資源の有効活用、新たな観光資源づくりをはじめ、満足度向上のための受入体制強化のほか、効果的な宣伝活動の実施など観光産業の振興を図ります。

一覧表施策コード01～13、20（11～13、20は重複）

◆【産業振興分野】

新幹線開業をさまざまな分野においてビジネスチャンスが生まれる絶好の機会ととらえ、地域資源の開発や地場製品の販路拡大に取り組むほか、未来を担う人材や企業の育成・誘致、就労機会拡充のための雇用の創出とともに、現函館駅周辺地域の拠点機能維持向上や中心市街地の活性化など、賑わいを創出する施策を展開し、地域産業の活性化に取り組みます。

一覧表施策コード11～20（11～13、20は重複）

◆【交通アクセス分野】

新函館駅が本市から離れた位置に設置されることから、幹線道路網の整備促進のほか、新函館駅における在来線鉄道・二次交通との乗り継ぎ利便の向上、空港・港湾など交通拠点との相互連携を図り、交流人口の増加に向けた新幹線利用者の円滑な交通アクセスの充実に努めます。

一覧表施策コード20～26（20は重複）

なお、アクションプランの本編は「北海道新幹線2015年新函館開業WEBサイト」からダウンロードできます。

【URL】 <http://www.shinkansen-hakodate.com/>
各種団体などへの出前講座も行いますのでお気軽にお問い合わせ下さい。（本件担当：地域振興課 TEL0138-23-1181）

■アクションプラン施策・項目一覧表

アクションプラン施策コード	実施項目
[01] 全市民をあげて観光客を迎える態勢づくり	①ホスピタリティ向上事業の複合展開 ②「はこだて検定」合格者の活躍の場づくりと、観光現場での資格活用策の構築
[02] 函館観光の「質」の向上	①観光分野における「よくある質問・苦情」の情報集約と活用
[03] 新たな観光資源の整備と既存資源の磨き上げ	①新たなテーマ設定による観光資源の整備 ②多彩なまちあるきメニューの創出 ③宿泊を誘発するコンテンツの集約と情報提供
[04] 体験観光メニューの創出・充実強化	①新たな体験型観光メニューの充実 ②来訪者が地域の「祭り」に参加できる仕組み創出
[05] イベントの充実による魅力創出	①魅力ある新規イベント創出、既存イベントの充実と情報発信力の強化 ②イベントの連続開催による総合的な魅力向上 ③周年・記念イベントの開催
[06] 道南圏周遊型広域観光ルート開発と滞在促進	①多様な道南観光周遊ルートの確立 ②長期滞在を可能とする宿泊割引制度などの導入
[07] 青函圏観光ルート・新規交流プログラムの創出	①縄文をテーマとした広域文化観光圏づくり ②新たな青函圏旅行プランの開発 ③青函ブランド商品の開発促進 ④青函両圏域に精通するガイド養成制度の創設 ⑤青函観光情報の共有とリアルタイムの情報提供
[08] 着地型情報提供の充実	①地域交流まちづくりセンターの観光案内機能強化 ②コンシェルジュ機能強化による満足度向上 ③地域情報の集約整理と効果的な発信
[09] コンベンション・ロケーションの受入環境整備	①コンベンション開催需要に的確に応えられる施設の整備検討 ②コンベンション誘致・受入体制の再編 ③フィルムコミッションのさらなる充実
[10] マーケティング強化による戦略的なPRの実施	①各地域や各旅行形態におけるニーズの把握 ②「函館は東北」キャンペーンの実施 ③オーストラリア観光客への宣伝強化（冬季） ④東アジア観光客の誘致強化
[11] 函館の魅力を伝えるプロモーションの充実強化	①「シティセールス」など函館のブランド力（長所）をふまえた多面的PRの実施
[12] 真の「国際観光都市」づくりのための環境整備	①外国人観光客がまちあるきしやすい環境構築（ハードの整備） ②緊急・救急対応など外国人観光客への対応力向上策の推進
[13] 函館ブランドの創出・向上・販路拡大	①事業者・業界団体・支援機関を網羅した「函館ブランド」推進組織の設置による地場製品のブランド化 ②地域資源・地場製品の開発と育成 ③函館ブランドのPR強化と販路拡大
[14] 地域の未来を担う人材の確保・定着・育成	①雇用対策関係事業の推進
[15] 新幹線を利活用した市場開拓と基盤整備	①「圏外市場進出プロジェクトチーム」の設立運営 ②物流対策についての協議
[16] ステークホルダーの連携促進による産業育成・創出	①「産学官（プラス金融）」連携の促進 ②「函館地域産業活性化協議会」等との連携による管外資本企業誘致活動の推進
[17] 域内需要創出・所得循環化の促進	①地産地消・地元調達への推進 ②域内の需給ミスマッチの検証と改善
[18] 中心市街地への賑わいの誘導・創出	①集客施設の新設・誘導・再活用 ②都心居住・都心就業策の推進
[19] 函館圏域の連携強化	①「函館地域産業活性化協議会」（平成20年2月設立）との連携と、枠組みを応用した「（仮称）函館圏地域づくり協議会」設置による協議・協働
[20] 域内交通・交流インフラの整備促進	①道路交通基盤の整備、関連機関との協議 ②公共交通各機関結節強化・終電終バス延長等運行改善・社会実験 ③「はこだてチケット」（仮称）の構築 ④運行情報の相互発信
[21] 新函館駅連絡バス運行の充実	①新函館駅と観光・交通拠点を結ぶバス路線新設と既存路線の拡充
[22] タクシーサービスの充実	①乗合タクシーの運行
[23] レンタカー機能の充実	①旅行形態に対応した車種の導入促進 ②広域エリア乗り捨て代金の無料化推進
[24] 新函館駅・現函館駅間の鉄道アクセスの充実	①利用者ニーズに対応したリレー列車の整備 ②リレー列車内でのサービス提供 ③乗り換え利便の高いホームの整備
[25] 新函館駅との接続道路などアクセス環境の整備	①新函館開業を見据えた高規格幹線道路等の整備 ②新函館駅部の接続環境の整備
[26] 新幹線運行の充実	①新幹線運行本数の充実と車両数の確保